【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年2月15日(2023.2.15)

【公開番号】特開2023-17943(P2023-17943A)
【公開日】令和5年2月7日(2023.2.7)
【年通号数】公開公報(特許)2023-024
【出願番号】特願2022-179435(P2022-179435)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ２５/００(２００６.０１)
Ａ６１Ｂ　１/０１８(２００６.０１)
Ａ６１Ｆ　２/９５(２０１３.０１)
Ａ６１Ｍ２５/０６(２００６.０１)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　２５/００　６００
Ａ６１Ｂ　１/０１８５１５
Ａ６１Ｂ　１/０１８５１２
Ａ６１Ｆ　２/９５
Ａ６１Ｍ　２５/０６　５５０

【手続補正書】
【提出日】令和5年2月3日(2023.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内部を貫通して延びる管腔を有した管状の内側部材と、
内部を貫通して延びる管腔を有した管状の外側部材であって、前記外側部材の管腔は前記内側部材を受け入れるように構成され、前記外側部材及び前記内側部材は、入れ子式に延長デバイスの調整可能な長さに対応する所望の位置まで互いに相対して摺動可能である、外側部材と、
前記外側部材及び前記内側部材を所望の位置で互いに対して固定するように構成されたロックアセンブリと、
第１の医療用デバイスのハンドルの遠位端に接続するように構成され、及び、前記外側部材の近位端にある近位コネクタと、
第２の医療用デバイスの近位端に接続するように構成され、及び、前記内側部材の遠位端にある遠位コネクタと、を備え、
前記延長デバイスは、前記第１の医療用デバイスの前記ハンドルから遠位に延びるシャフトの遠位端からステントを送達するために前記第１の医療用デバイスが前記第２の医療用デバイスの遠位端を超えて延びるように、前記第１の医療用デバイスの延長を容易にするように構成される、延長デバイス。
【請求項２】
前記第１の医療用デバイスの前記シャフトは、前記延長デバイスの前記外側部材及び前記内側部材の管腔を通って、前記第２の医療用デバイスの近位端から遠位端に延びる管腔を通って、及び、前記第２の医療用デバイスの前記遠位端を超えて所定の距離だけ、伸張可能である、請求項１に記載の延長デバイス。
【請求項３】

前記所望の位置は、前記ロックアセンブリの少なくとも１つの所定の固定位置を含む、請求項１に記載の延長デバイス。
【請求項４】
前記所望の位置は、前記ロックアセンブリの複数の所定の固定位置を含む、請求項１に記載の延長デバイス。
【請求項５】
前記内側部材に沿って、前記遠位コネクタに沿って、かつ前記内側部材の管腔まで延びるチャネルと、
前記外側部材に沿って、前記近位コネクタに沿って、かつ前記外側部材の管腔まで延びるチャネルと、
をさらに備え、
前記内側部材及び前記外側部材の前記チャネルは、互いに位置合わせするように構成され、それにより、前記延長デバイスが前記第１の医療用デバイスの前記シャフト周りに配置され、及び除去され得る、請求項１に記載の延長デバイス。
【請求項６】
前記外側部材及び前記内側部材の少なくとも一方は、互いに相対して回転可能であり、それにより、前記延長デバイスが、前記内側部材の前記チャネルが前記外側部材の前記チャネルと位置合わせされる開放形態と、前記内側部材の前記チャネルが前記外側部材の前記チャネルと位置合わせされていない閉鎖形態との間を移行され得る、請求項５に記載の延長デバイス。
【請求項７】
前記遠位コネクタの近位にて、前記内側部材の遠位部分に配置された旋回可能なジョイントをさらに備え、前記ジョイントは、前記第２の医療用デバイスの長手方向軸及び前記旋回可能なジョイントに対して遠位の前記内側部材の一部と位置合わせ可能な第１の長手方向軸を有し、前記ジョイントは、前記内側部材の残りの部分の長手方向軸と位置合わせ可能な第２の長手方向軸を有する、請求項１に記載の延長デバイス。
【請求項８】
前記ジョイントは、
前記内側部材の遠位部分にある球状本体であって、前記内側部材の管腔と流体連通する管腔を有する球状本体と、
前記内側部材の遠位部分にて前記球状本体の周りに配置されたカップ状体であって、前記球状本体の管腔と流体連通する管腔を有するカップ状体と、を備え、
前記球状本体は、前記内側部材、前記球状本体、及び前記カップ状体の管腔を流体連通状態に維持しながら、前記カップ状体内で旋回可能である、請求項７に記載の延長デバイス。
【請求項９】
ワーキングチャネルを有する内視鏡と、
送達デバイスであって、当該送達デバイスから遠位に延びるとともに前記ワーキングチャネル内に受容可能なシャフトを有する送達デバイスと、
延長デバイスと、
を備え、前記延長デバイスは、
内部を貫通して延びる管腔を含む管状の内側部材と、
内部を貫通して延びる管腔を含む管状の外側部材であって、前記外側部材の管腔は前記内側部材を受け入れるように構成され、前記外側部材及び前記内側部材は、入れ子式に前記延長デバイスの調節可能な長さに対応する所望の位置まで互いに相対して摺動可能である、外側部材と、
前記外側部材及び前記内側部材を所望の位置で互いに対して固定するように構成されたロックアセンブリと、
前記送達デバイスのハンドルの遠位端に接続するように構成され、及び、前記外側部材の近位端にある近位コネクタと、

前記内視鏡の近位端に接続されるように構成され、及び、前記内側部材の遠位端にある遠位コネクタと、を備え、
前記送達デバイスは、前記送達デバイスの遠位端からステントを送達するべく、前記内視鏡の遠位端を貫通し、かつ前記内視鏡の遠位端を超えて延びるように構成される、延長システム。
【請求項１０】
前記延長デバイスの前記調整可能な長さは、前記シャフトが前記延長デバイスの前記外側部材及び前記内側部材の管腔を通って伸張可能であり、前記内視鏡の近位端から遠位端まで延びるワーキングチャネルを通って伸張可能であり、かつ所定の長さだけ前記内視鏡の遠位端を超えるものである、請求項９に記載の延長システム。
【請求項１１】
前記ロックアセンブリは、前記シャフトの長さに一致する、前記内視鏡の近位端と前記送達デバイスの遠位端との間の所定の固定位置を有する、請求項９に記載の延長システム。
【請求項１２】
前記内側部材に沿って、前記遠位コネクタに沿って、かつ前記内側部材の管腔まで延びるチャネルと、
前記外側部材に沿って、前記近位コネクタに沿って、かつ前記外側部材の管腔まで延びるチャネルと、
をさらに備え、
前記内側部材及び前記外側部材のチャネルは、互いに対して位置合わせするように構成され、それにより、前記延長デバイスは、前記シャフトが前記ワーキングチャネル内に留まっている間に、前記送達デバイスの前記シャフト周りから取り外すことができる、請求項９に記載の延長システム。
【請求項１３】
前記外側部材及び前記内側部材の少なくとも一方が、互いに相対して回転可能であり、それにより、前記延長デバイスが、前記内側部材のチャネルが前記外側部材のチャネルと位置合わせされている開放形態と、前記内側部材のチャネルが前記外側部材のチャネルと位置合わせされていない閉鎖形態との間で移行され得る、請求項１２に記載の延長システム。
【請求項１４】
前記遠位コネクタの近位にて、前記内側部材の遠位部分に配置された旋回可能なジョイントをさらに備え、前記ジョイントは、前記内視鏡の長手方向軸及び前記旋回可能なジョイントに対して遠位の前記内側部材の一部と位置合わせ可能な第１の長手方向軸を有し、前記ジョイントは、前記内側部材の残りの部分の長手方向軸と位置合わせ可能な第２の長手方向軸を有する、請求項９に記載の延長システム。